



P1-X

Professional Control Surface

**DAW コントローラーの未来はここに 있습니다！
革命を続けていこう。**

P1-M の拡張器、中型 MIDI DAW 制御表面を展示するニュースター！ 12 ビット ALP ボリュームコントローラ 8 個、エンドレスでスムーズなロータリーエンコーダノブ 8 個、と 32 個のチャンネルボタンで P1 システムを拡張します。非常に先進的なソフトウェアと直感的でインテリジェントな設計のもとで、P1-X 拡張器は D-4 ディスプレイユニットとその他の P1-X ユニットを通じてさらに拡張することができます。

拡張性と優れたミキシング体験を適切な価格でお楽しみください！





電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICON製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

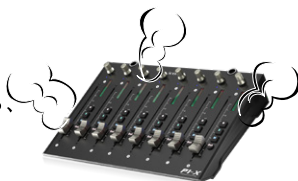
故障したら使わない

本体やACパワーアダプター、充電器などの動作がおかしくなったり、破損しているのにお気付きの場合はすぐにお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら






























- ① アイコンサービスセンター
- ② USBケーブルを抜く
- ③ お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にて修理を依頼する




変な音・
においがしたら、
煙が出たら



警告表示の意

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 <p>この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じる場合があります</p>	 <p>この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の器具に損害を与えたりすることがあります。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="590 782 707 837">注意を促す記号</td> <td data-bbox="718 782 792 837">火災 </td> <td data-bbox="803 782 877 837">感電 </td> <td data-bbox="888 782 962 837">指み </td> </tr> <tr> <td data-bbox="590 845 707 901">行為を禁止する記号</td> <td data-bbox="718 845 792 901">禁止 </td> <td data-bbox="803 845 877 901">分解禁止 </td> <td data-bbox="888 845 962 901">接禁止 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="590 909 707 965">行為を指示する記号</td> <td data-bbox="718 909 792 965">プラグをコンセントから抜く </td> <td data-bbox="803 909 877 965">強制 </td> <td data-bbox="888 909 962 965"></td> </tr> </table>	注意を促す記号	火災 	感電 	指み 	行為を禁止する記号	禁止 	分解禁止 	接禁止 	行為を指示する記号	プラグをコンセントから抜く 	強制 	
注意を促す記号	火災 	感電 	指み 											
行為を禁止する記号	禁止 	分解禁止 	接禁止 											
行為を指示する記号	プラグをコンセントから抜く 	強制 												

	 	<p>下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの となります。</p>
---	---	--

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。絶対に自分で分解しないでください。内部の点検や修理はお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この機種は防水構造にはなっていないので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜いてください。電池を使用している場合は、すぐに電池を取り出してください。そして、お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご相談ください。

内容

はじめに	4
付属品をご確認ください	4
お客様のアカウントで ICON Pro Audio 製品をご登録く ださい	5
機能 Pt. 1	6
機能 Pt.2	7
上面パネルレイアウト	8
背面パネルのレイアウト	10
P1-X 入門	11
日常使用で P 1-X を起動する	14
Mac 用 iMap™ のインストール	15
Windows で iMap™ ソフトウェアをインストールする 端末を登	18
The iMAP™	20
iMap™ のその他の機能	22
ファームウェアアップグレード	23
Ableton Live	26
Audition	27
Bitwig	29
Cakewalk	30
Cubase/Nuendo	32
Digital Performer 11	33
FL Studio	34
Logic Pro	35
Luna	36
Mixbus 32C	37
Pro Tools	38
Reaper	39
Reason	41
Samplitude	42
Studio One	43
Tracktion Waveform	45
ハードウェアの接続	46
拡張 P1-X	47
製品仕様	49
修理について	50

はじめに

まず、ICON Pro Audio P1-X MIDI DAW コントローラのご購入おめでとうございます！これらのページでは、P1-X 機能の詳細な説明と完全な仕様リストを見つけることができます

次のリンクのサイトから製品を登録してください：my.iconproaudio.com/registration:

他の電子製品と同様、本製品につきましてもご購入いただきました際の梱包材一式を保管していただきますようお願い申し上げます。万一修理のため本製品を弊社に返送していただく場合は、製品ご購入時の梱包材（あるいはそれと同等の梱包材）が必要となります。

本製品は、適切に整備・お手入れをしていただければ、故障することなく末永くご利用いただけます。後日照会させていただくため、シリアルナンバーを下欄に控えていただけますよう、お願い申し上げます。

付属品をご確認ください

- P1-X 拡張ユニット x 1 個
- Quick Start Guide x 1
- USB C ケーブル x 1
- 電源アダプター x 1



お客様のアカウントで ICON Pro Audio 製品をご登録ください

1. お使いのデバイスのシリアル番号を確認してください

my.iconproaudio.com/registration に進むか、下の QR コードをスキャンします。



画面に、お使いのデバイスのシリアル番号など、請求された情報を入力します。「Submit」をクリックします。

形式番号やシリアル番号などのデバイス情報を表示したポップアップウィンドウが現れます。「Register this device to my account」をクリックします。別のメッセージが表示された場合はアフターセールスサービスチームまでご連絡ください。

2. 既存ユーザーの方は、ご自分の個人アカウントページにログインします。未登録の方は新規ユーザーとして登録してください。

既存ユーザーの場合：ユーザー名とパスワードを記入して、個人ユーザーページにログインしてください。

新規ユーザーの場合：「Sign Up」をクリックして、情報をすべて記入してください。

3. 役に立つ資料をダウンロードする

このページのアカウントに、登録済みデバイスがすべて表示されます。製品ごとにドライバ、ファームウェア、各言語版のユーザーマニュアル、バンドルされたソフトウェアなどが表示されるので、これらをダウンロードすることができます。

機能 Pt. 1

生産ニーズが高まるにつれて、P1-M MIDI DAW コントローラユニットにチャンネルを追加することを検討することができます。更に良いのは、できるだけ多くの DAW (とデスク) を追加できること！

8 つの新しいチャンネルを持つ P1-X 拡張器ユニットを使用して P1-M システムのチャンネル数を拡張することで、トラックを通じてより大きな制御とより少ない溜まりを実現することができます。

P1-X は 8 つのタッチセンサー 12 ビット電動ボリュームコントローラをお届けします。ボリュームコントローラキャップは設計が繊細で、人間工学を配慮して、あなたの指に適して、より快適なミキシング体験を提供します。

P1-X には 8 つのエンドレスで滑らかな動作を行うロータリーエンコーダがあり、各チャンネルには 32 個の発光ボタン (rec、solo、mute、sel) があります

P1-M と同様に、P1-X は超安定な Cortex-M7@500MHz ARM チップにより、今後数年間にわたって信頼性、耐久性、創造的な機能を提供することができます。

iMAP™ ソフトウェアの上級ユーザーフレンドリーバージョンは P1-X と P1-M をサポートしています。各会話の開始時に起動するだけで、「ロック」などのコマンドがホストだけでなく、P1-X 拡張器にも適用されることを確保できます。これは、iMAP がハードウェアとコンピュータの橋渡し役として巧みに機能しているからです。2 つ目のソフトウェアがないので、遅延はありません。通信速度が非常に速く、すぐ反応します。

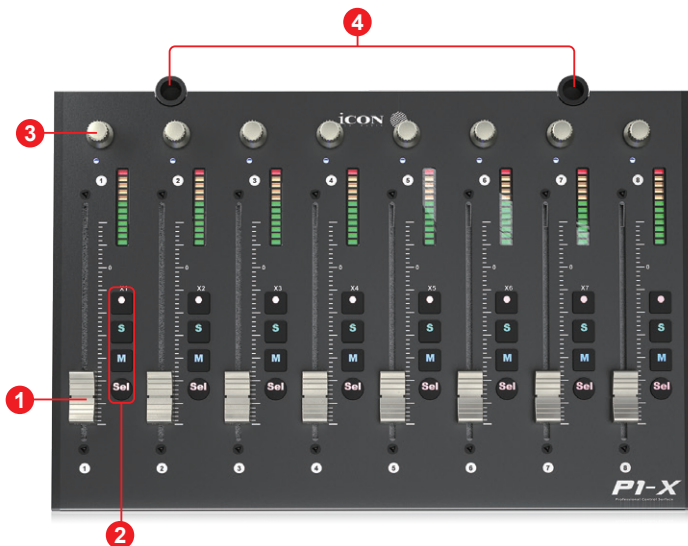
今唯一の問題は、P1-M に P1-X ユニットのどのくらい追加するかです！

オプションの D-4 表示ユニット、P1-X、P1-M、D-4T 表示ユニットがあれば、プロジェクトを完全に制御することができます。みんなの審美と機能需要にはこのインテリジェント、直観的で、魅力的なユニットが満足します。プロフェッショナルの感覚、設計と機能を持つ P1-X と P1-M は音楽に近づけさせ、仕事のプロセスを改善し、体験感を高めてくれます。革命へようこそ。

機能 Pt.2

- iCON Pro Audio P 1-M MIDI DAW コントローラ用の拡張器
- 12ビットの解像度を持つマスターチャンネル用 8 タッチセンス付きモータライズフェーダー
- 非常にコンパクト、頑丈、かつ多目的
- 各チャンネルに 1.14 インチ TFT 表示を追加 (一部 DAW はこの画面に追加情報を表示するために装備されています)。
- デュアル機能エンコーダーつまみ (入力して回す) 8 個
- ミュート、ソロ、録音などのチャンネルコントロール用の照光ボタン
- 互換性のある音楽制作ソフトウェアとシームレスに統合するためのユニバーサル Mackie Control および HUI プロトコルをサポート。
- アビリティ、オーディション、アプレトナライブ、ビットウィッグ、ケークウォーク、キューベース / ヌエンド、デジタルパフォーマー、FL スタジオ、MIX バス 32 C、プロツール、ロジックプロ、リパー、リーズン、サンプリチュード、スタジオワン、トラクションウェーブフォームにサポートします。
- iMap™ ソフトウェアを含む
- 高速 USB C 対応
- USB C 接続と iMap ソフトウェアで簡単にファームウェア・アップグレードが可能。
- 製造品質に優れた、Kensington ロックポート搭載の堅牢なメタルケーシング
- Cortex-M7@500MHz ARM チップは優れている信頼性お持ち

上面パネルレイアウト



注意：P1-Mは、ユニバーサル DAW コントローラ（すなわち、特定の DAW 向けに設計されたものではない）であり、DAW 間で機能の動作が若干異なります。各機能については DAW マニュアルをご参照ください。

1. Faders

8つの電動フェーダーは、一般的に DAW のトラックボリュームを制御するために使用されます。DAW によっては、「flip」ボタンを使用して、ロータリエンコーダーとフェーダー機能を交換することができます。これは、ロータリーエンコーダを使用して一般的に実行されるパンやプラグインのパラメーター値を非常に複雑に動かす場合に便利です。12ビットの解像度のフェーダーは、非常に細かい動きが可能です。

プロジェクトに録音されたオートメーションはすべて、フェーダー位置に反映されます。すべてのフェーダーはタッチセンシティブで、ユーザーはフェーダーにタッチした瞬間にオートメーションをオーバーライドできます。

2. 録音チャンネルコントロールボタンセクション

REC (録音) ボタン - 対応するチャンネルの録音状態をオンオフします。チャンネルが録音状態になると、スイッチが赤く点灯します。

SOLO (ソロ) ボタン - 対応するチャンネルのソロ状態をオンオフします。チャンネルのソロ状態がオンになると、スイッチが緑色に点灯し、それ以外のチャンネルがミュートされます。

MUTE (ミュート) ボタン - 対応するチャンネルのミュート状態をオンオフします。チャンネルがミュート状態になると、スイッチが青く点灯します。青く点灯したチャンネルがミュートされます。

SEL (選択) ボタン - チャンネルの選択

3. デュアル機能エンコーダー

8つの平穩、無声、デュアル機能を備えたエンコーダーは、プッシュボタンとロータリーコントロールとして機能します。エンコーダーを押すと、動作モードを変更できます。エンコーダーを回転させると、割り当てられた機能に応じて、チャンネルのパン、センドレベル、プラグインパラメーターを調整できます (DAW ソフトウェアが許す限り)。ノブの押すアクションは DAW 内の操作モードを変更するために使用でき (これは DAW に依存します)、ノブの回転アクションは PAN、EQ、プラグインの値などのパラメーターを変更するために使用できます。

4. D-4 ソケット

D-4 ディスプレイユニットの「脚部」を収納するためのソケットです。D-4 ディスプレイユニットは、ユーザーの体験を大幅に向上させます。D-4 ユニットがない場合、ユーザーがたとえばプラグインの変更に影響を与えたい場合、DAW 自体またはより小さいオンボードのディスプレイでパラメーターの変更などを観察することがあります (表示される情報は DAW に依存します)。



背面パネルのレイアウト



1. USB C ポート

お使いのコンピュータと互換性のあるソフトウェアへの MIDI ポートとして機能します。

2. 12v/2.5a 電源アダプタポート

付属の電源アダプタを接続します。

(**注意** : 付属の電源アダプタを接続しないと、P1-M は動作しません。コンピュータからの usb バスは電源不足になる)。

3. ユーザー A およびユーザー B 用 1/4 inch コネクタ

この 1/4 inch コネクタにフットペダルを接続すると、そのフットペダルを使って、選択した機能を起動することができます。そのパラメータを設定するには、Mackie コントロールモードで、ユーザー A またはユーザー B のパラメータを選択します。

4. D-4 表示ユニットコネクタ

付属のケーブルを使用して、オプションの D-4 モジュールをこのコネクタに接続します。D-4 は、デジタルメーターだけでなく、DAW に依存する様々な情報を表示します。D-4T TFT は、プラグインや EQ のパラメーター調整を簡単にし、DAW とにらめっこすることなく、DAW コントローラーと対話することを可能にします！



P1-X 入門



1. USB ポートを介して P1-X を Mac/PC に接続します。

Mac/PC で USB ポートを選択し、USB C ケーブルを挿入します。ケーブルのもう一方の端を P1-X に接続します。開けて！ Mac/PC は新しいハードウェアを自動的に「検出」する必要があります。

2. 接続する 3 つの DAW の構成

P1-M iMAP に 3 つの DAW を割り当て、P1-M にある 3 つの DAW ボタンに割り当てます（P1-M マニュアルの iMAP 部分を参照）。

これらは P1-M マニュアルで例として使用されている DAW です。

DAW #1	Bitwig
DAW #2	Cubase
DAW #3	Logic

明確にするために、次のページでこれらの例を使用して、DAW を P1-X に配置する方法を説明します。

まず、先に明確にしましょう。

DAW を P1-X に割り当てる必要はありません。これにより、DAW # 1 と DAW # 2 などがそれぞれどれなのかを識別することができます。P1-M に設定しましたので、P1-X にも転送されます。

ここでは、DAW プログラムが P1-X と P1-M が通信しようとしていることを知っていることを確保する必要があります。

詳細については、引き続きをお読みください。

P1-M を DAW にセットアップする

P1-M iMAP に3つの DAW を割り当てているため、P1-X がそれらを識別し、DAW/s が P1-X と P1-M を識別するようにこれらの DAW を配置する必要があります。P1-M と同じ方式です。一部の DAW では、P1-X を「Mackie Control」の別の事例として追加する場合がありますが、他の DAW では P1-X を「Mackie Control」として追加する必要がある場合があります。疑問がある場合は、DAW のメーカーマニュアルを参照してください。

P1-X 拡張器をどのように追加するかの基本原理です



注意： MIDI ポート 4 は、iCON Pro オーディオソフトウェア iMAP™ で使用され、使用する 3 つの DAW の変更、ファームウェアの更新、および 16 パネルタッチスクリーンへの任意の機能のプログラミングに使用されます

4 つのオプションがメニューとして表示され、選択した DAW を選択できます。

S ですから、私たちの事例を思い出しつつ；

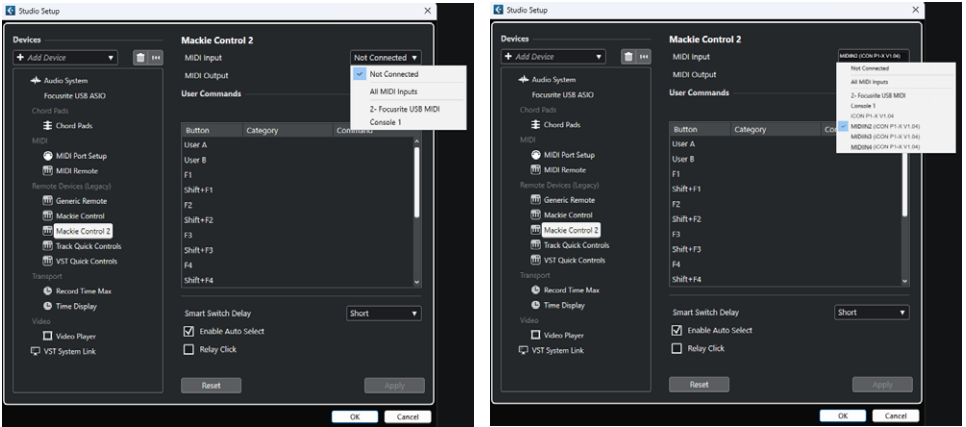
DAW #1	Bitwig
DAW #2	Cubase
DAW #3	Logic

選択する必要があることは、それが DAW #1 に選択した DAW であるため、わかっています。P1-M アプライアンスの DAW#1 を押すと、P1-M と P1-X は自動的にビットウィッグモードに移行します。

例では、キューベースは 2 番目の DAW であるため、P1-X で動作するように DAW を設定する場合は、メニューで「MIDIIN 2 (P1-X V 1.01) またはファームウェアバージョンのどちらか *)」を選択する必要があります。キューベースで P1-X を Mackie コントロールデバイスとして設定している場合、P1-M 上の DAW コントローラー選択部で「2」を押すと、P1-M と P1-X が自動的にキューベースを選択します。

ロジックも同様ですが、今回は「MIDIIN3 (P1-X V1.01)」(またはそのファームウェアバージョン※) この DAW を自動的に選択するようにします。

ここでは、キューベースでの設定例を紹介します。



ご覧のように、デバイスを Mackie コントローラとして設定する場合、4 つの選択肢があります。

P1-M の DAW コントロールボタン「2」に反応するようにキューベースを設定しているので、「MIDIIN2 (P1-X V1.01)」を選択します。P 1-X 接続時。

また、キューベースの MIDI リモートマネージャではなく、キューベース 12 以降のデバイスのセットアップには通常の方法で Mackie コントロールを使用する必要があることに注意してください(ただし、これはキューベースに固有のものです)。

使用しているサポートされている DAW に関係なく、原理はほぼ同じです。

日常使用で P 1-X を起動する

まずコントローラを起動してから、iMAP を起動し、そして DAW を起動してください。これにより、iMAP がハードウェアと直接通信できるようになります。

iMAP を直接にハードウェアと通信させます。iMAP はハードウェアとだけ通信し、通信スピードと他の要素の影響の回避を確保できます。

また、iMAP は P1-M マスターユニットと使用可能な P 1-X 拡張器との間の「橋」として機能し、結束力を確保します。例えば、P 1-X 拡張器ユニットと一緒に使用する場合、「ロック」機能は予想通りに動作します。iMAP が接続されていない場合は、接続されません。

もちろん、機能プログラミングを変更したい場合は、iMAP を P1-M ハードウェアと同時に実行する必要があります

最後に、Controller、iMAP、DAW の順序を使用するのは、iCON Pro Audio ソフトウェア iMAP™ が MIDI ポート 4 を使用して使用される 3 つの DAW を変更し、ファームウェアを更新し、選択した機能を使用して 16 パネルタッチスクリーンをプログラミングするためです。このポートを使用してデバイスに接続することはできません。

残念なことに、起動時に自動的にポート 4 を占有しようとする DAW があり、iMAP が正常に動作しないようにします。そのため、iMAP は DAW/s の前とコントローラの後に開く必要があり、MIDI ポートを占有し、正しく接続されていることを確認します。



Remember

Every time you launch the P1-X

Step 1: Controller

Step 2: iMAP

Step 3: DAW

ステップごとに適切にロードされていることを確保するために、ステップごとにしばらく待つのを忘れないでください。

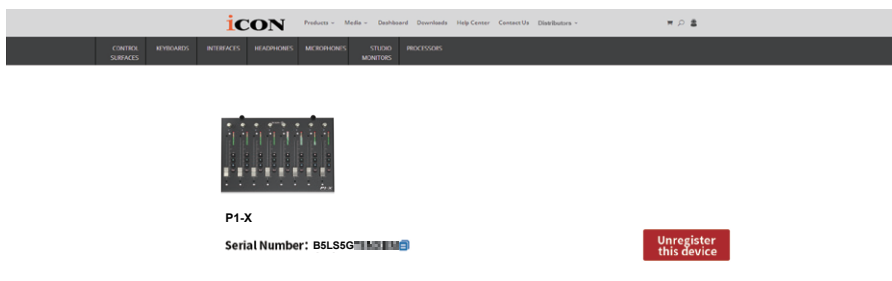
Mac 用 iMap™ のインストール

端末を登録し www.iconproaudio.com のパーソナルユーザーセンターで、iMAP をダウンロードしてください。

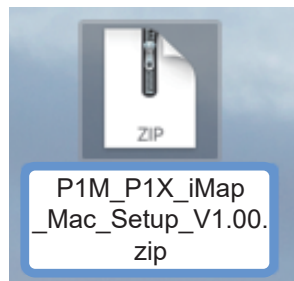
ダウンロード後、ファイルをクリックするとインストールが開始されます。また、iMAP は、以下の製品ページで公開されます www.iconproaudio.com

ヒント：「P1-M iMap」アイコンを「Applications」フォルダに「ドラッグ&ドロップ」すると、Mac のデスクトップに「iMap」ショートカットを作成できます。

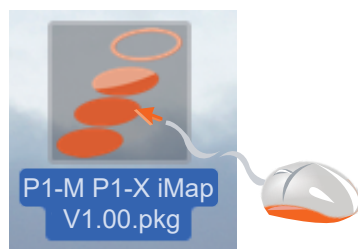
注：P1-M と P1-X には iMAP があり、「タイトル」をクリックして2つのコンテナを切り替えることができます。



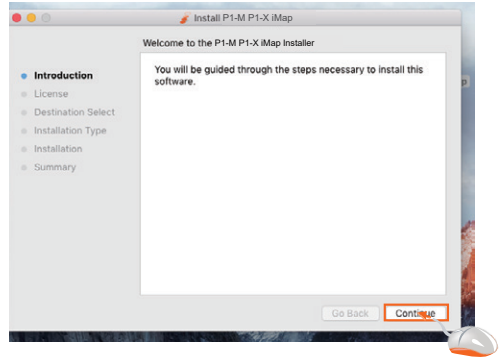
1. お使いのデバイスのユーザーセンターから iMAP™(Mac) をダウンロードします。(ユーザーセンターの作成については、P.5 「iCON Pro Audio 製品を個人アカウントに登録する」を参照してください)。



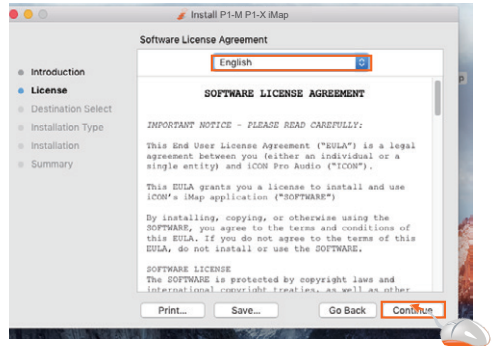
2. ファイルをクリックして解凍してください。



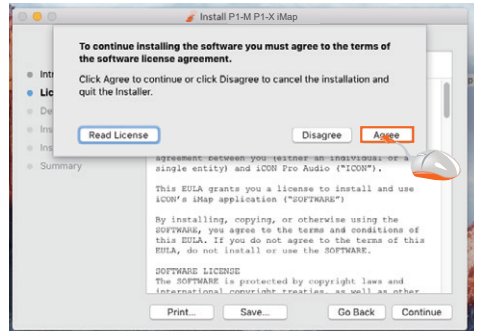
3. 「続行」をクリックします。



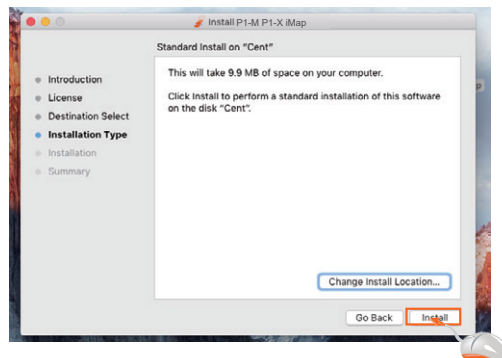
4. ライセンス契約を読む。「続行」をクリックします。



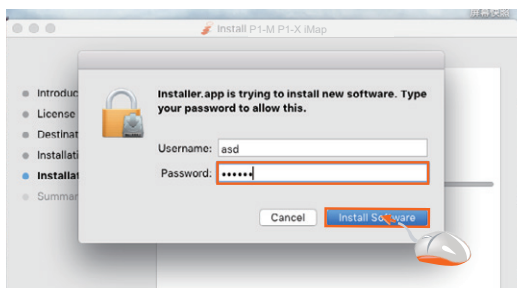
5. 「同意」をクリックしてライセンス条項に同意します。



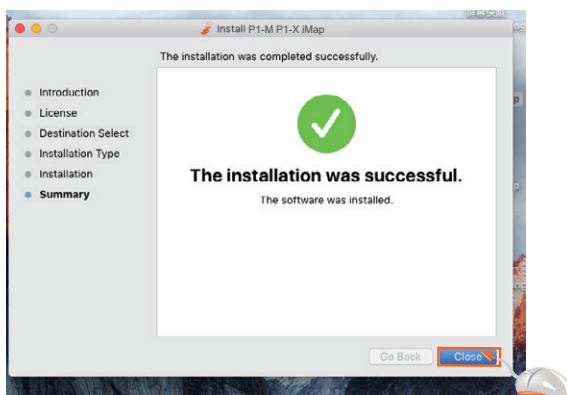
6. 「インストール」をクリックします。



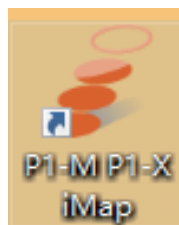
7. ユーザー名とパスワードを入力します。"ソフトウェアのインストール"をクリックします。



8. iMAPソフトのインストール後、「閉じる」をクリックします。



9. ショートカットをクリックすると、iMAP が起動します。



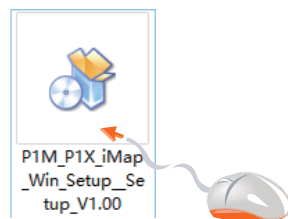
Windows で iMap™ ソフトウェアをインストールする端末を登録

端末を登録し、www.iconproaudio.com のパーソナルユーザーセンターで、iMAP をダウンロードしてください。iMAP は、ウェブサイトの製品ページでも入手できます www.iconproaudio.com

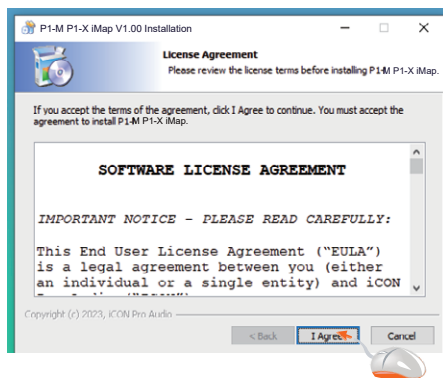
注： P1-M と P1-X には iMAP があり、「タイトル」をクリックして2つのコンテンツを切り替えることができます。

次の手順に従って、iMap™ ソフトウェアをインストールします。

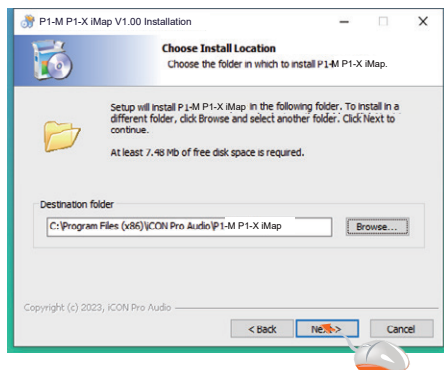
1. TPC の電源を入れます。
2. www.iconproaudio.com の個人ユーザーページから、Windows ドライバをダウンロードします
ドライバファイルをダウンロードしたら、そのファイルをクリックしてインストールプロセスを開始します。



3. 設定ウィザードが表示されます。
セットアップウィザードが表示されるので、ライセンス条項を読んでから「同意する」をクリックしてください。

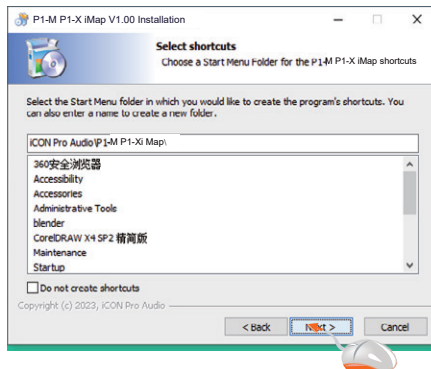


4. インストール場所を選択する
iMap™ のインストール場所を選択するか、デフォルトの場所を使用して [Next] をクリックします。



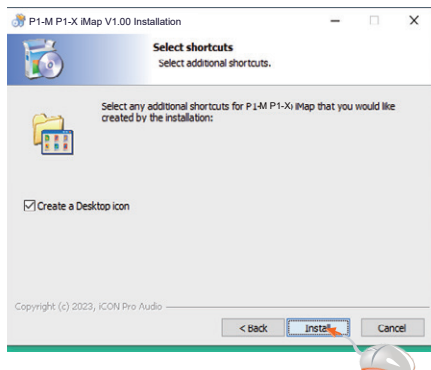
5. ショートカットを選択する

iMap™ ショートカットを作成するスタートメニューフォルダを選択します。次に「Next」をクリックしてください。



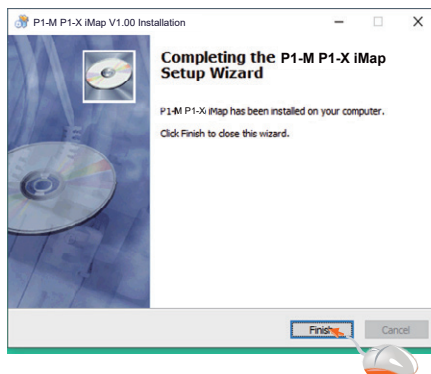
6. デスクトップにショートカットを作成する

デスクトップにiMap™のショートカットアイコンを配置しない場合は、チェックボックスをオフにします。そうでない場合は、「Install」をクリックします。



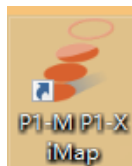
7. iMap™ がインストールを開始する

iMap™のインストールが開始されました。完了するまでお待ちください。次に「Finish」をクリックします。

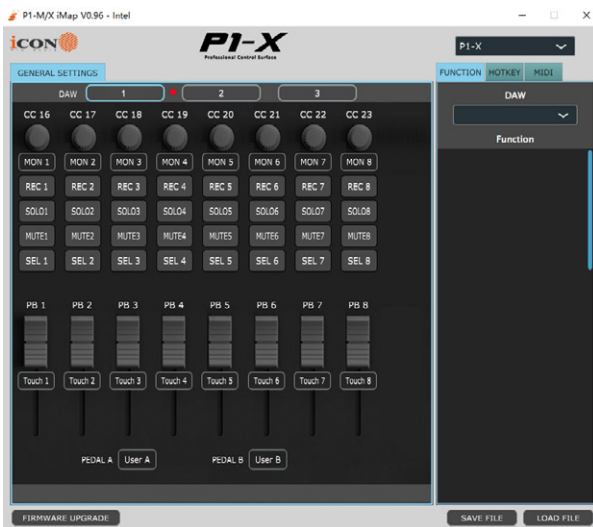


8. インストールが完了しました

「Finish」をクリックして、iMap™ソフトウェアのインストールを完了します。



The iMAP™



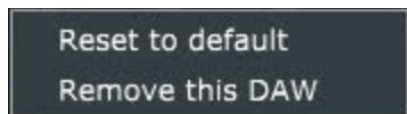
新しい非常に先進的な iMap のインテリジェントな設計により、ユーザーはリアルタイムで変更を加えることができます。

プログラミングしているコントローラを変更するには、iMAP の「タイトル」をクリックする必要があります。P1-x のプログラミングを変更するには、c タイトルの「P1-M」をクリックして「P1-M」に変更します。その逆も同じです。

自分で作った MIDI メッセージを送る

MCP では「ピッチ」「ノート」「CC」「チャンネル」「メッセージ」、HUI では「値 1」「値 2」「機能」の値を、制御要素に応じて調整することが可能です。結果は瞬時に v1-x に送信されます！ユーザーは iMAP を使用して、フェーダーとロータリーエンコーダの両方に独自の MIDI メッセージをプログラムできます (ボタンは V1-M 本体のタッチスクリーンで表示されます。詳しくはマニュアルを参照してください)。

iMAP 上で、スイッチギアを右クリックして 'reset to default' の値 (現在の DAW モードの初期値) を設定します。



「bitwig」を使用している場合、エンコーダーを右クリックして「restore to default」を選択すると、すべてのスイッチギア (およびタッチスクリーン) が初期値に戻りますので、ご注意ください。

同様に、別の DAW (DAW ボタン 1~3) を選択すると、すべてのユーザープログラミングが選択された DAW のものに「上書き」されます。

バーチャルインストゥルメントの使用

DAW コントローラーを使って Virtual インストゥルメントのパラメーターを操作したいというユーザーもいます。最初から、これは完全に DAW であり、Virtual インストゥルメントに依存することに注意する必要があります。一部のバーチャル楽器には、機能が制限されています(ない場合もあります)。

プログラムできる CC 値は様々です。例えば、CC1 (モジュレーション) と CC11 (エクスプレッション) は最もよく使われるパラメータです。

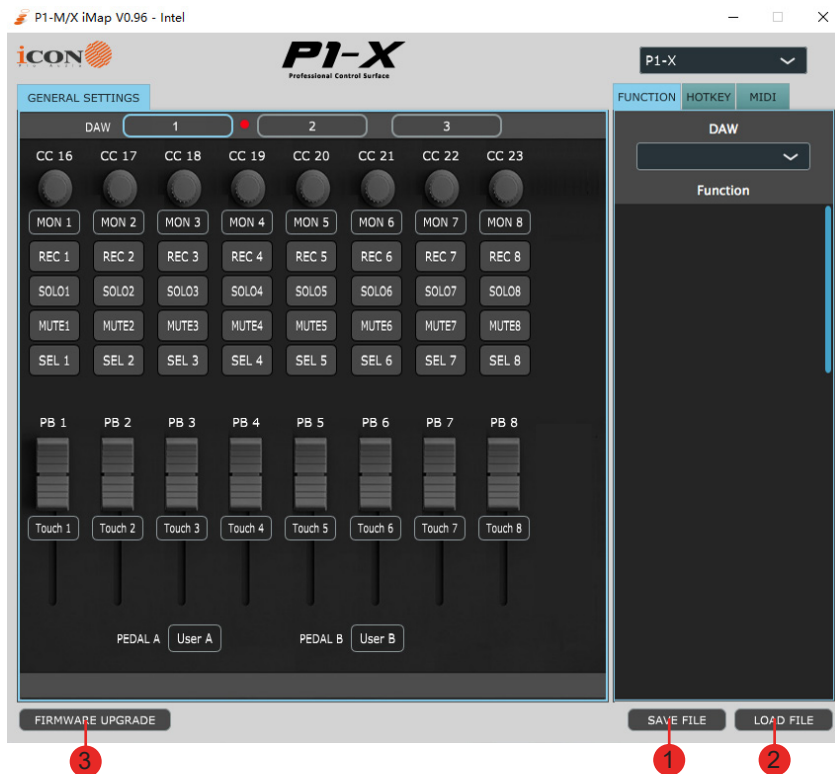
「ビブラート」には CC 値がなく、そのパラメータが制御したい仮想楽器の機能であれば、MIDI learn でマッピングできる可能性があることに注意してください。MIDI の学習方法については、お使いの DAW のマニュアルを参照してください。

なお、バーチャルインストゥルメントによっては、汎用的な外部コントローラーからの通信を受信する機能が制限されているものがあります

さらに、ジョグホイールをプラグイン、EQ、インストゥルメントのパラメーターコントローラーとして使用することも可能です。「フォーカス」ボタンを押し、該当するパラメーターの上にマウスを置くことで、特にプログラムする必要はありません。これは非常に便利で強力な機能であり、非常にシンプルで簡単で使用できます！間違いなく覚えておくべき機能です！



iMap™ のその他の機能



1. 「ファイルの保存」ボタン

このボタンをクリックして、P1-Xの現在の設定を保存します。ファイルは「.imap」ファイルです。

2. 「ファイルの読み込み」ボタン

このボタンをクリックして、P1-X用に以前に保存した「.imap」設定ファイルをロードします。

3. 「ファームウェアアップグレード」ボタン

このボタンをクリックして、P1-Xのファームウェアアップグレードウィンドウに入ります。ファームウェアのアップグレード手順については P.36 を参照してください。

ファームウェアアップグレード

P1-X 機能ファームウェアアップロードプログラム

重要注意事項: P1-M と P1-X を切り替えるには、iMAP の「タイトル」をクリックします。正しいデバイスのファームウェアをアップグレードしていることを常に確認してください。



警告: ファームウェアアップロードプロセスは、ファイルのアップロード中に中断しないで完了する必要があります。中断すると、ファームウェアは再書き込みできません。



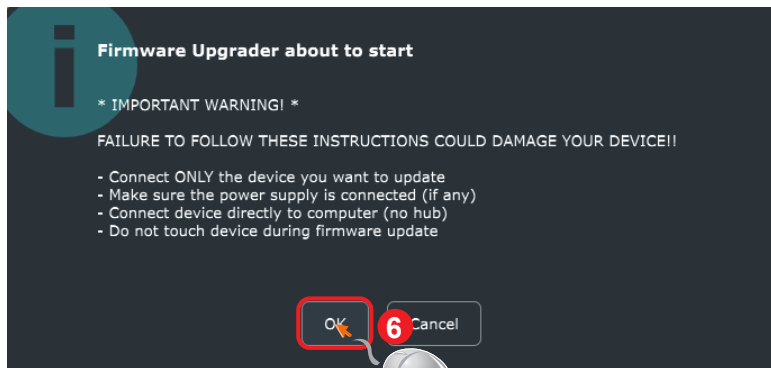
ステップ 1: USB C 接続を使用して P1-X を接続してください。上部の「MIDI デバイス」ボタンを押して、ドロップダウンメニューから接続されている P1-X を「MIDI 入力・出力」デバイスとして選択します。

「Firmware update」をクリックします。

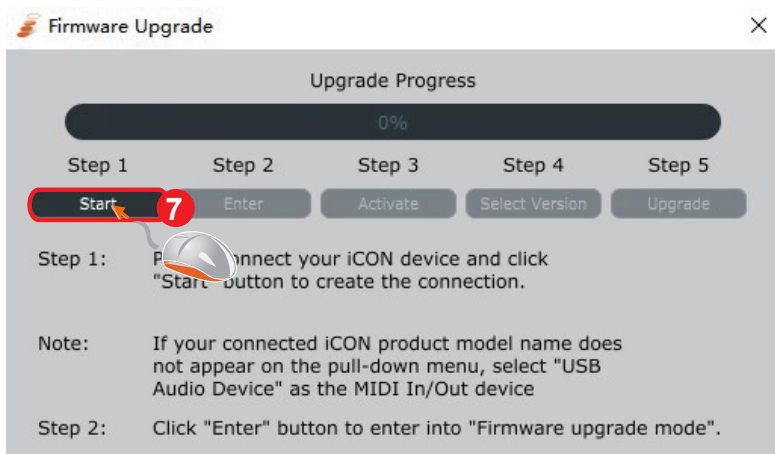


注意: 接続した名前「P1-X」がドロップダウンメニューに表示されていない場合は、MIDI 入力・出力デバイスとして「USB Audio」を選択してください。

ステップ 2: 注意書きを読みます。

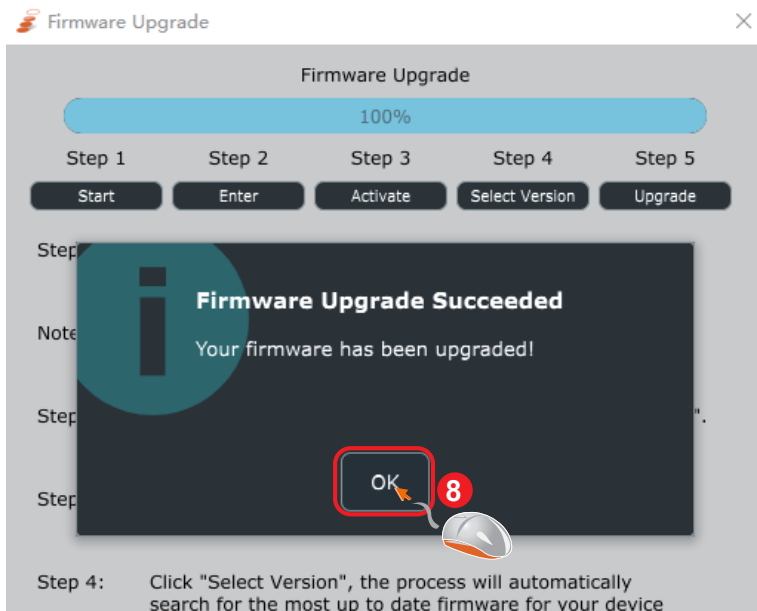


ステップ 3: 「開始」 ボタンをクリックします。

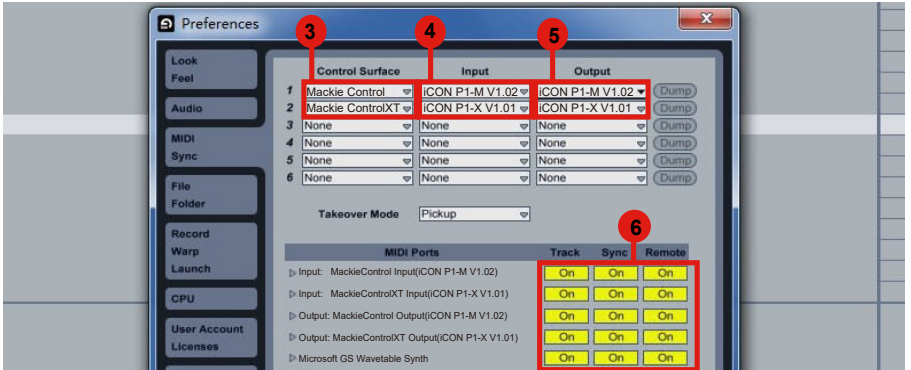
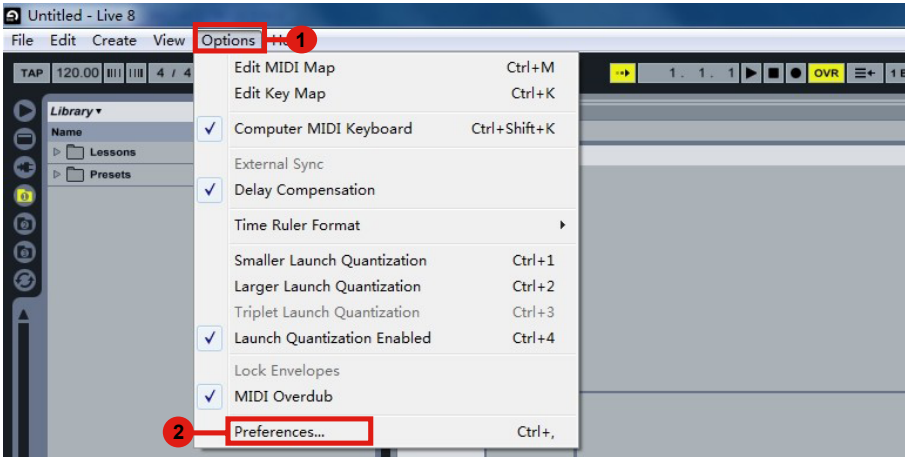


ステップ 4: ファームウェアのアップグレード処理が完了するのを待ちます。

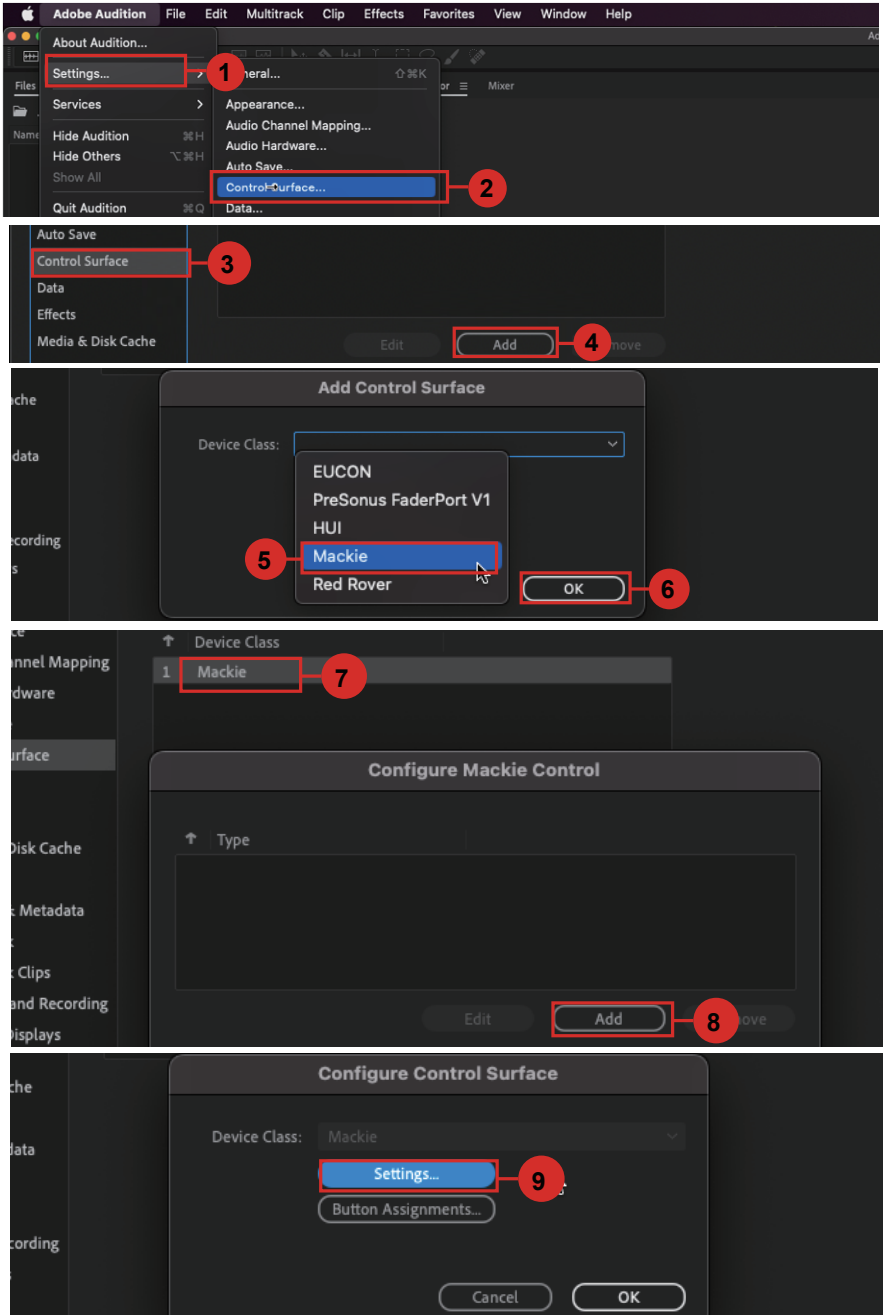
ステップ 5: ファームウェアのアップデートが完了したら、「ok」を押してください。

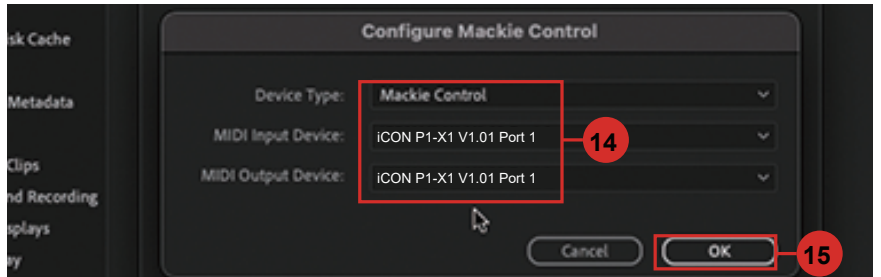
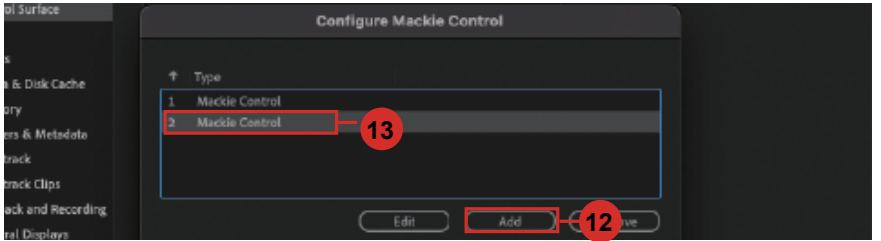
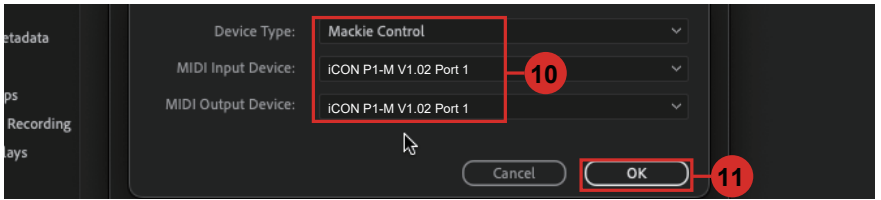


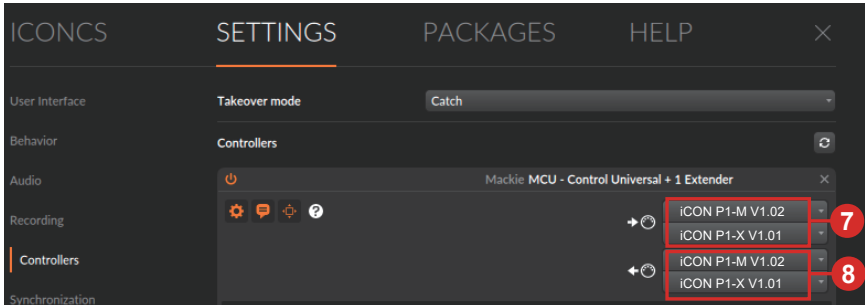
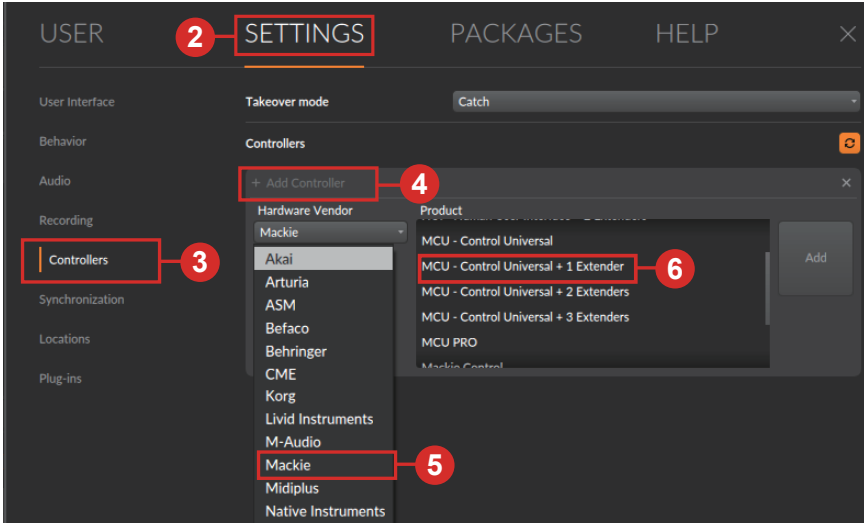
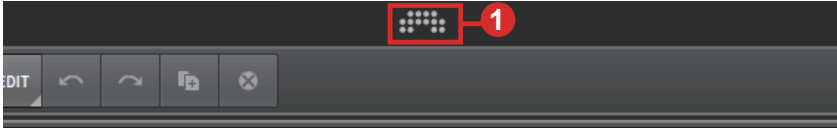
Ableton Live



Audition







1 File **Edit** Utilities Help

2 Preferences... P

3 Import ACT Data...

4 Connected Controllers/Surfaces

Controller/Surface	In Port	Out Port	A...	W...	WAI color
Mackie Control - 1	iCON P1M V1.02	iCON P1M V1.02	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

5 MIDI Devices...

6 OK

7

Friendly Name	Device Name
<input type="checkbox"/> 2- Focusrite USB MIDI	2- Focusrite USB MIDI
<input type="checkbox"/> Console 1	Console 1
<input type="checkbox"/> iCON P1-M V1.02	iCON P1-M V1.02
<input checked="" type="checkbox"/> MIDIIN2(iCON P1-X V1.0...)	MIDIIN2(iCON P1-X V1.0...)
<input type="checkbox"/> MIDIIN3(iCON P1-X V1.0...)	MIDIIN3(iCON P1-X V1.0...)
<input type="checkbox"/> MIDIIN4(iCON P1-X V1.0...)	MIDIIN4(iCON P1-X V1.0...)

8 OK

Friendly Name	Device Name
<input type="checkbox"/> Microsoft GS Wavetable ...	Microsoft GS Wavetable Sy...
<input type="checkbox"/> 2- Focusrite USB MIDI	2- Focusrite USB MIDI
<input type="checkbox"/> Console 1	Console 1
<input type="checkbox"/> iCON P1-M V1.02	iCON P1-M V1.02
<input checked="" type="checkbox"/> MIDIOUT2(iCON P1-X ...)	MIDIOUT2(iCON P1-X V1.0...)
<input type="checkbox"/> MIDIOUT3(iCON P1-X ...)	MIDIOUT3(iCON P1-X V1.0...)
<input type="checkbox"/> MIDIOUT4(iCON P1-X ...)	MIDIOUT4(iCON P1-X V1.0...)

9 OK

Controller/Surface Settings

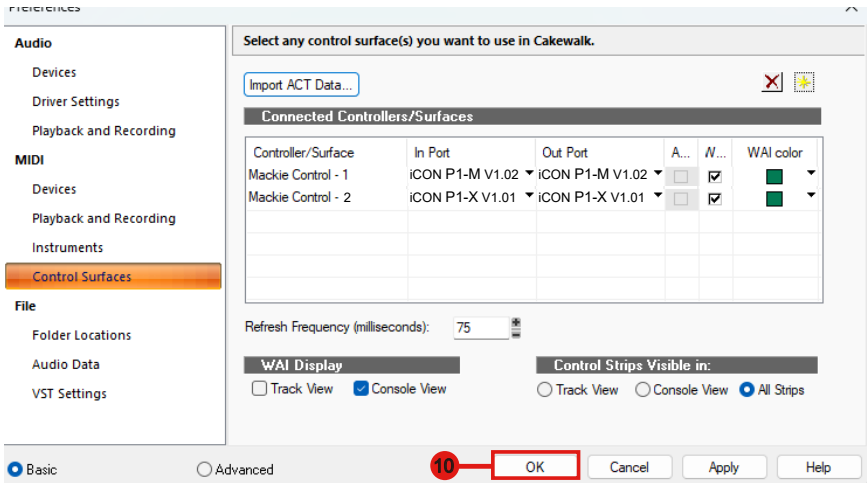
Controller/Surface: Mackie Control

Input Port: iCON P1X V1.01

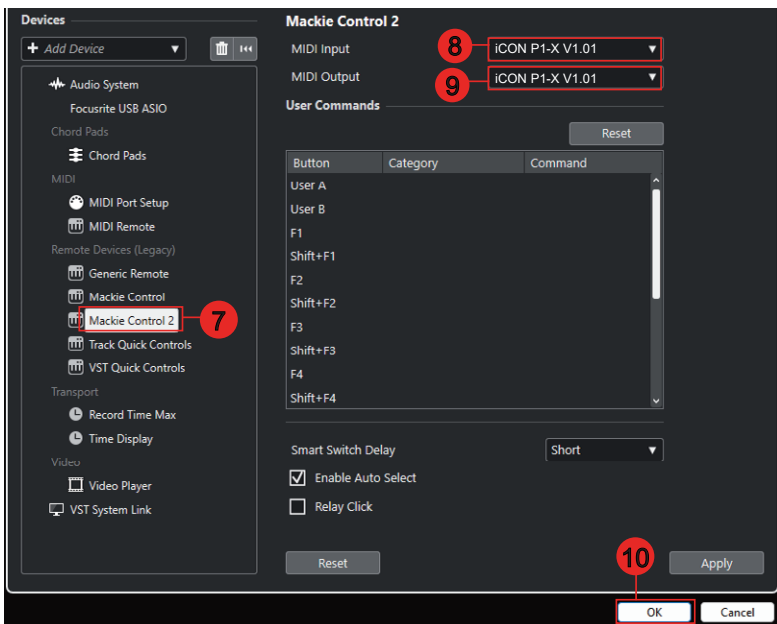
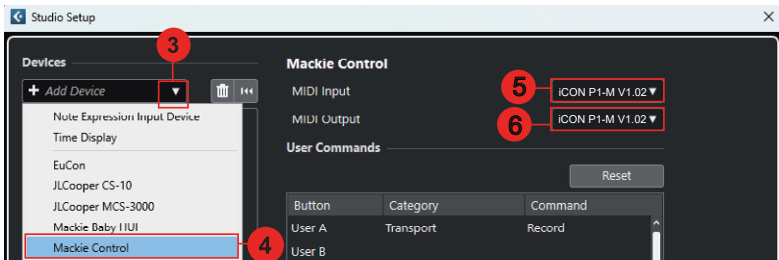
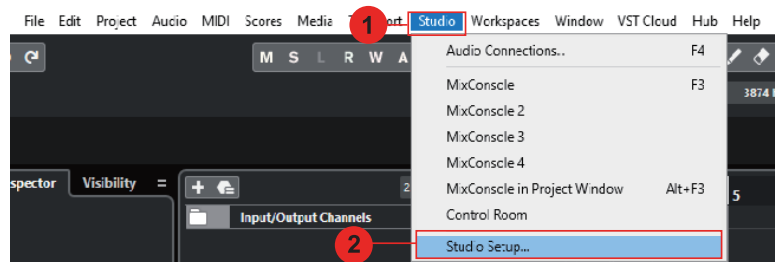
Output Port: iCON P1-X V1.01

MIDI Devices...

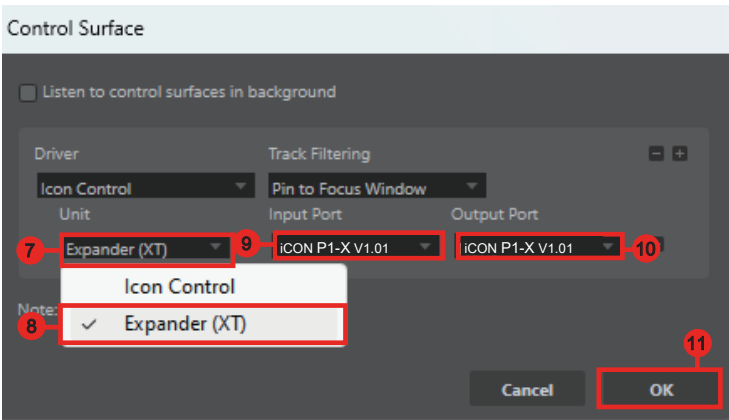
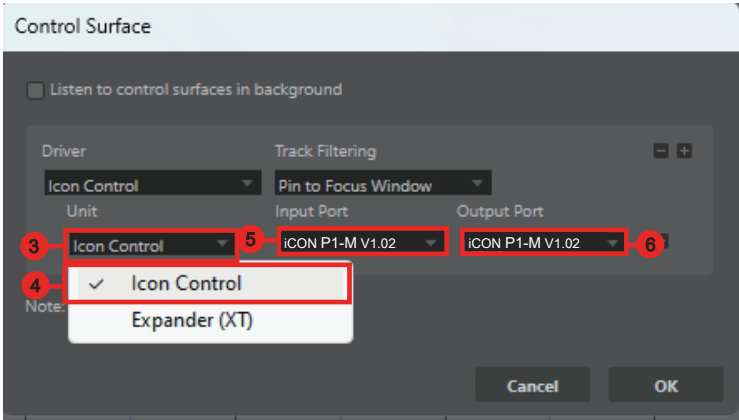
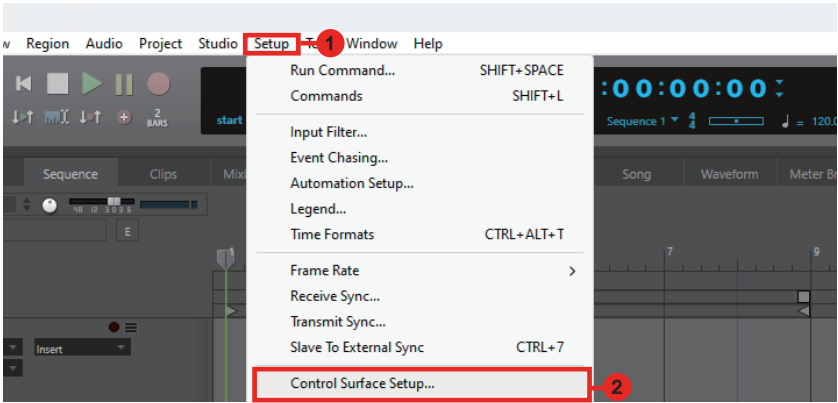
trips Visible in: Console View All Strips



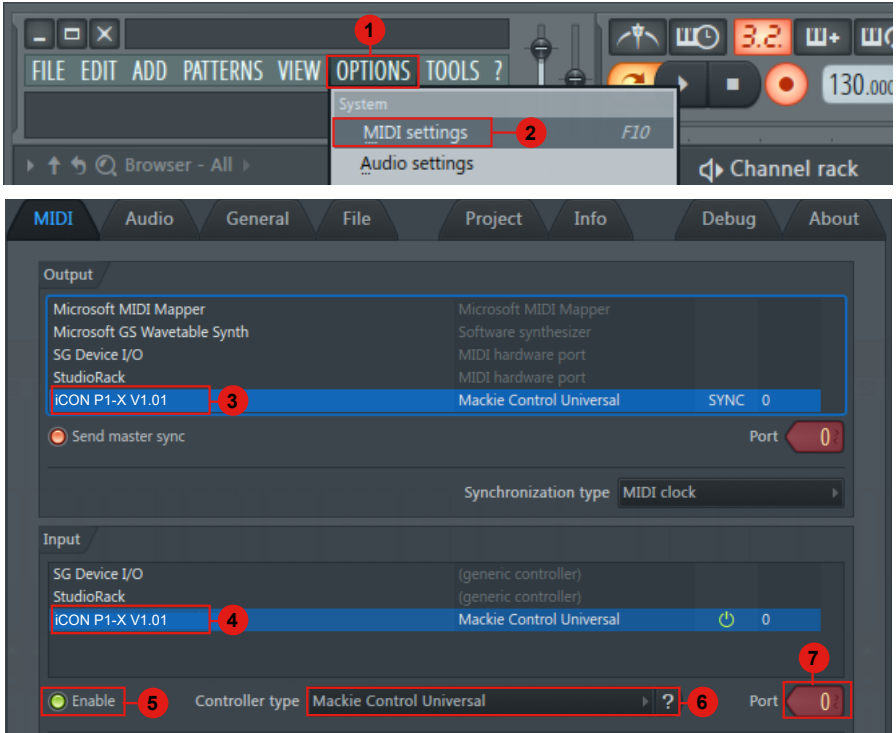
Cubase/Nuendo



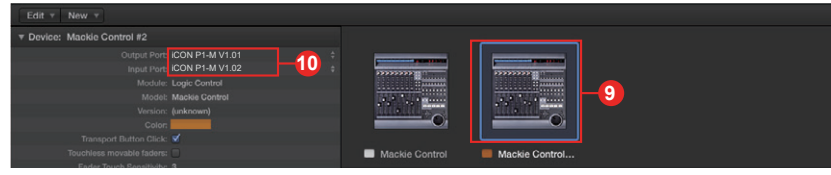
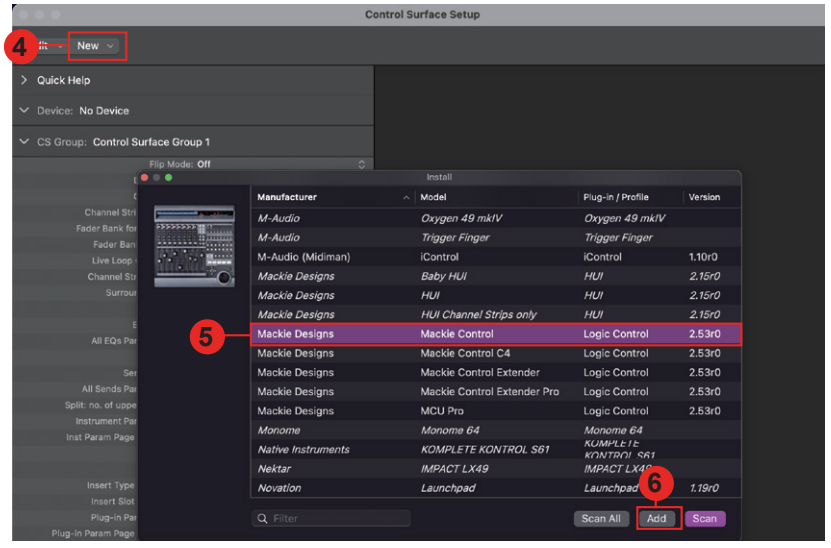
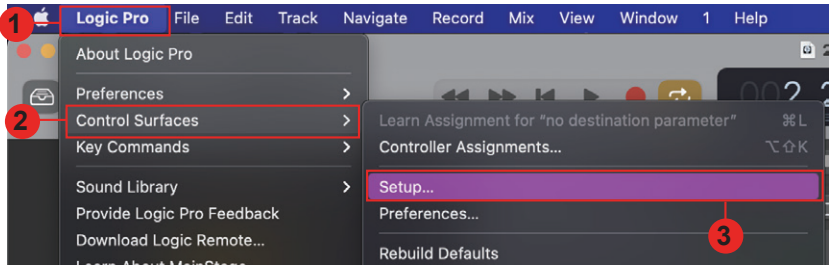
Digital Performer 11



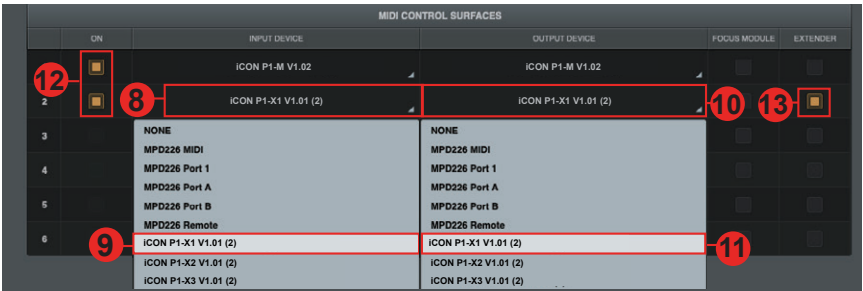
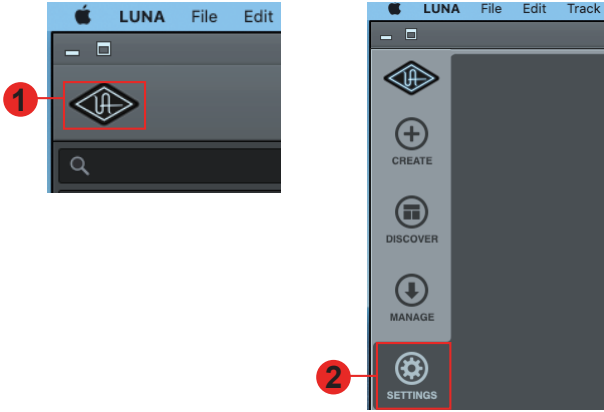
FL Studio



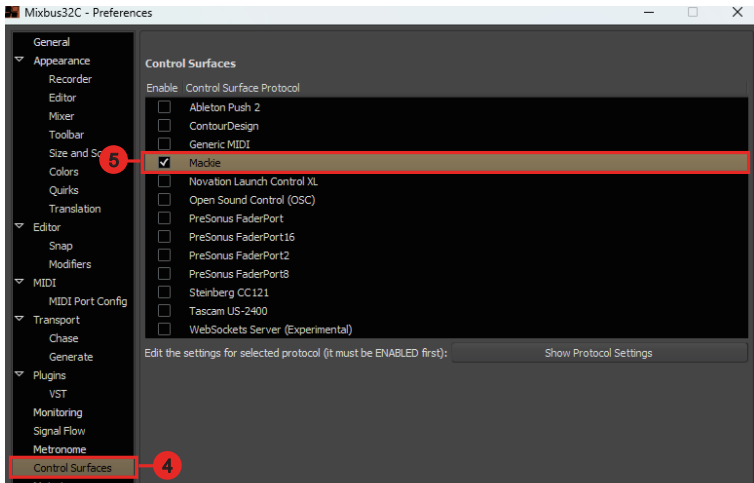
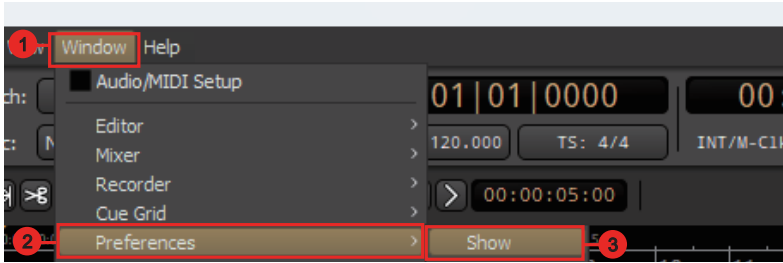
Logic Pro



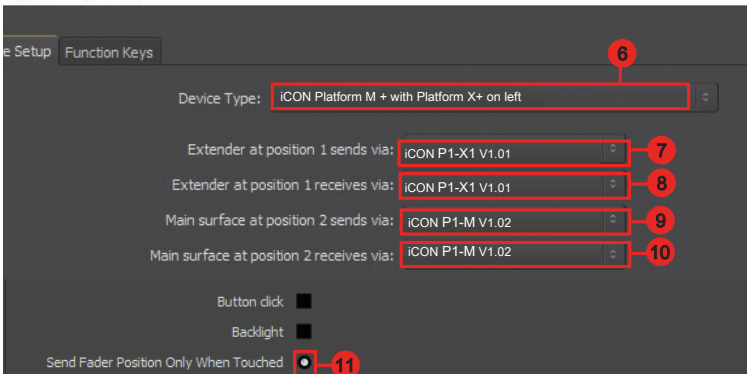
Luna



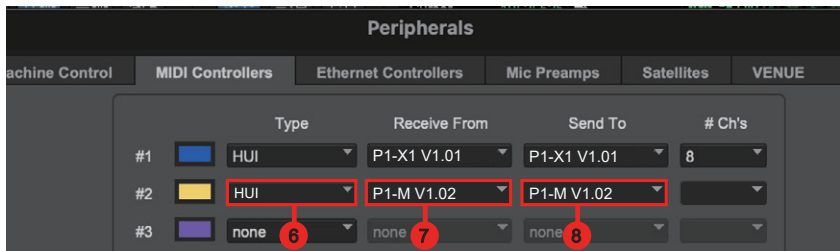
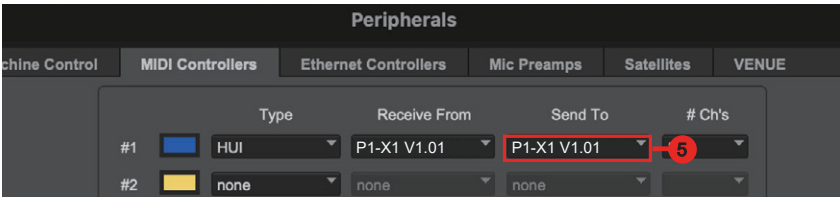
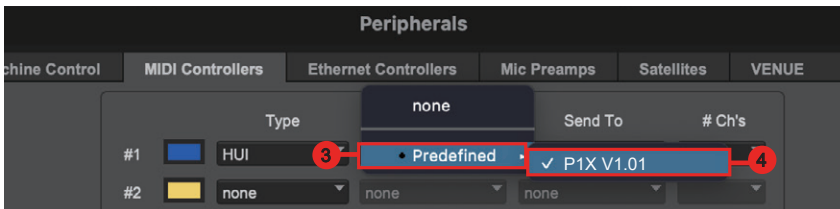
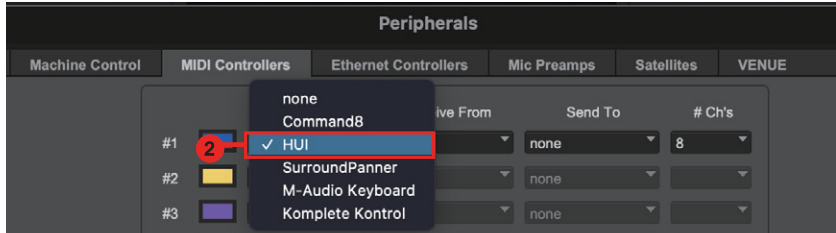
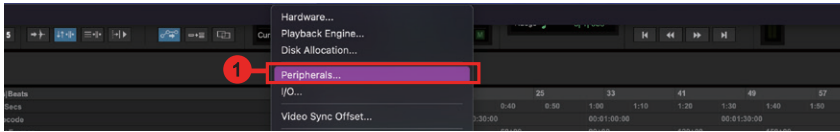
Mixbus 32C



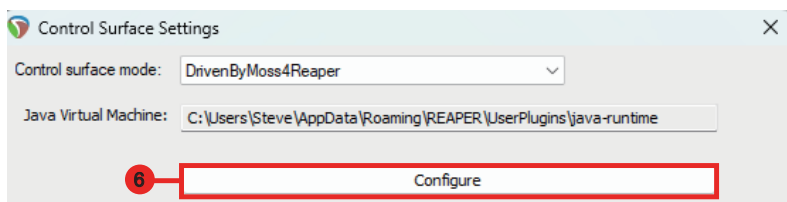
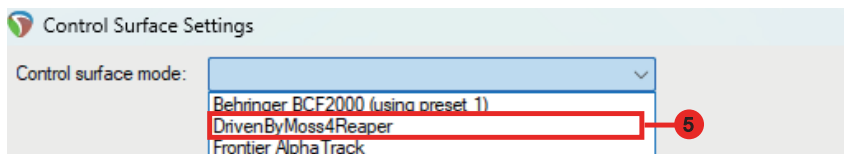
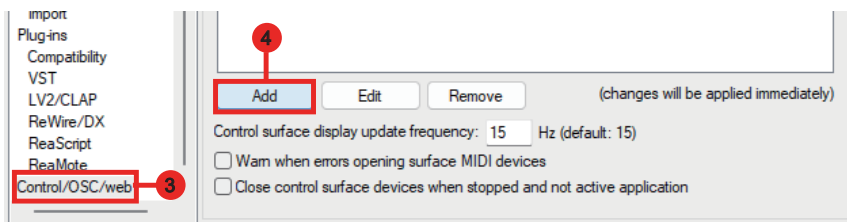
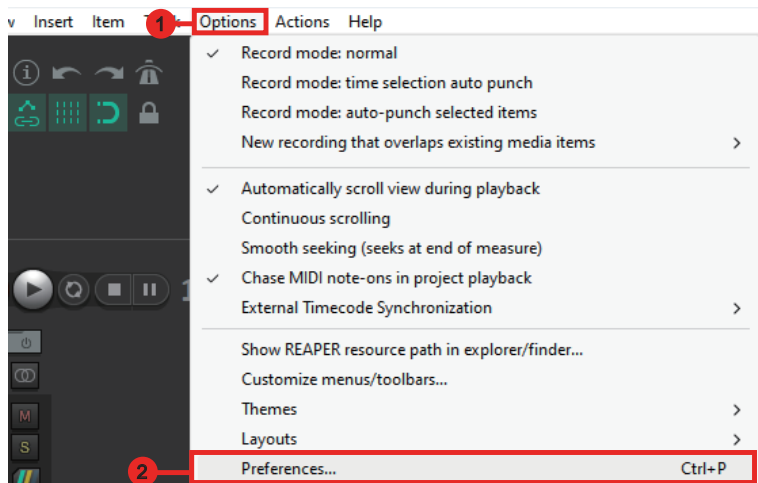
Protocol Settings

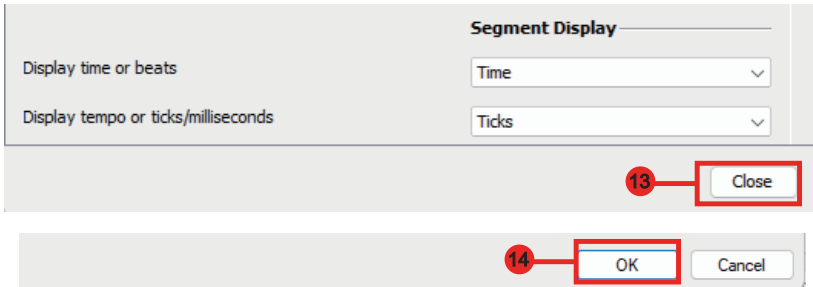
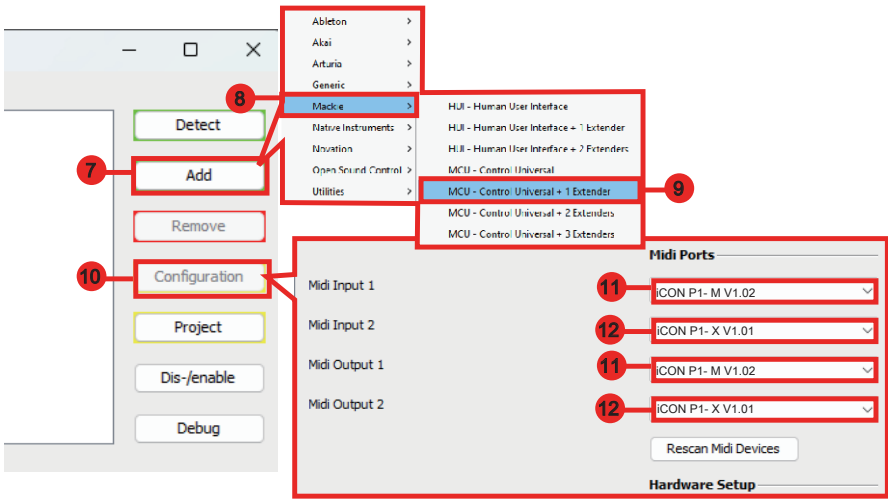


Pro Tools

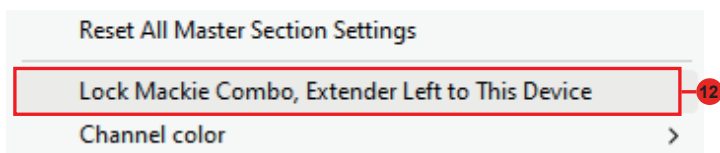
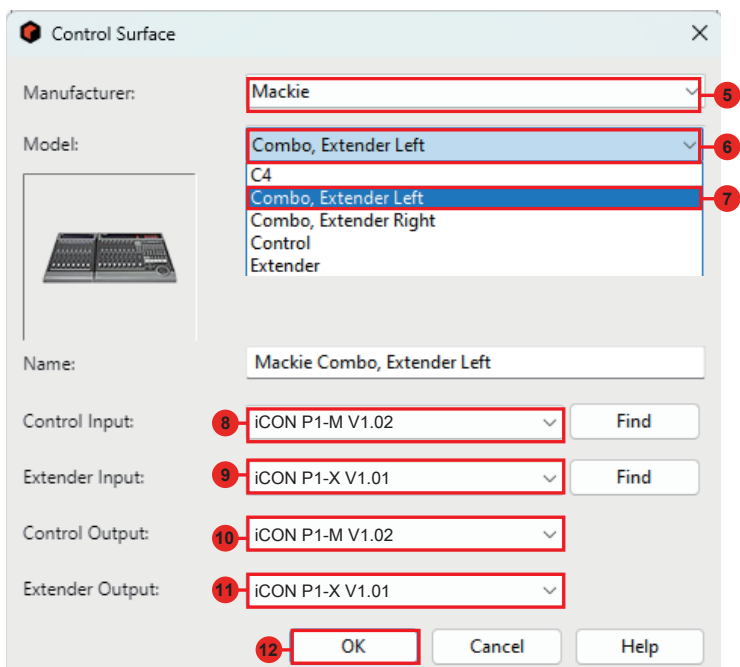
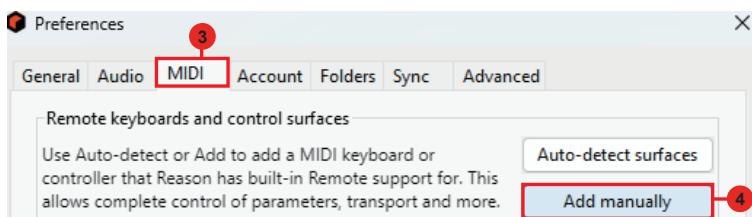
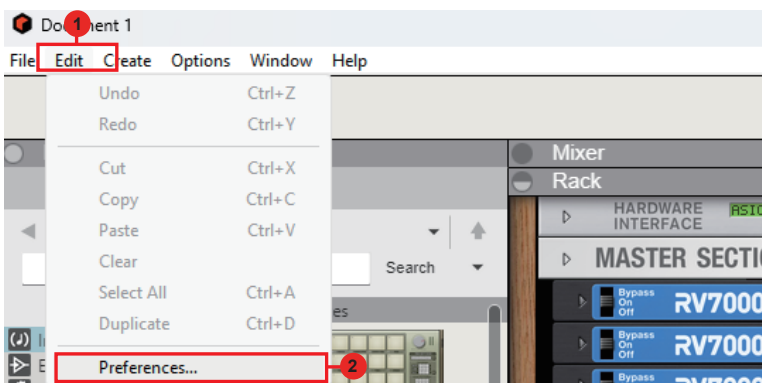


Reaper

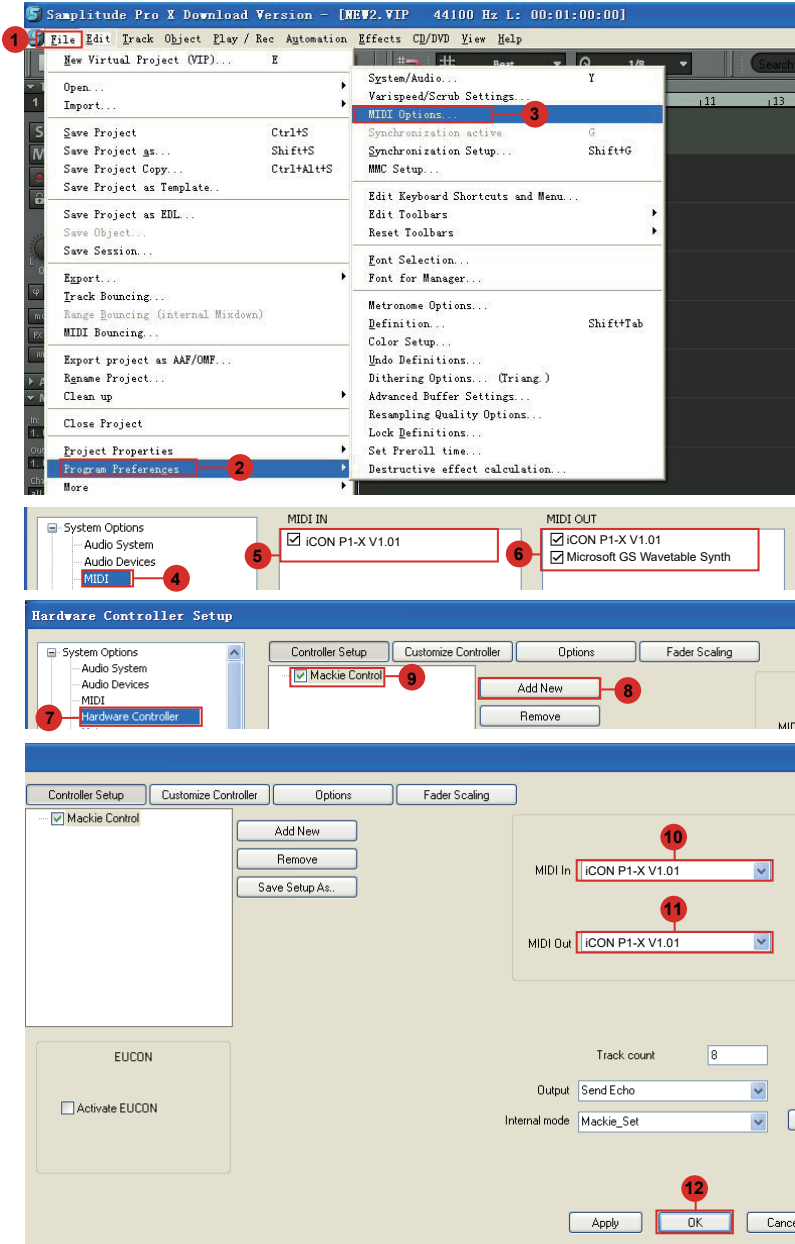




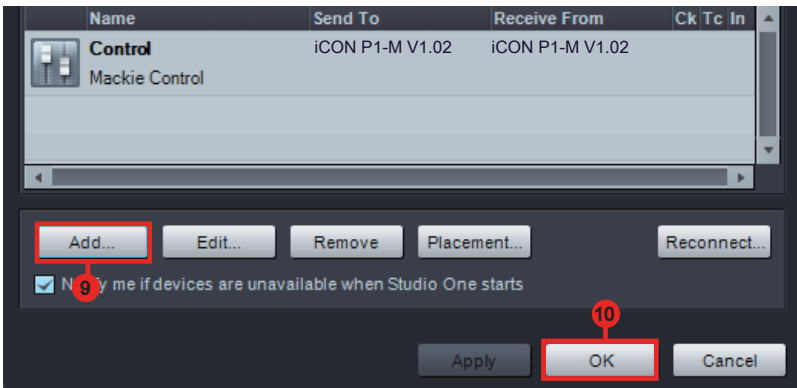
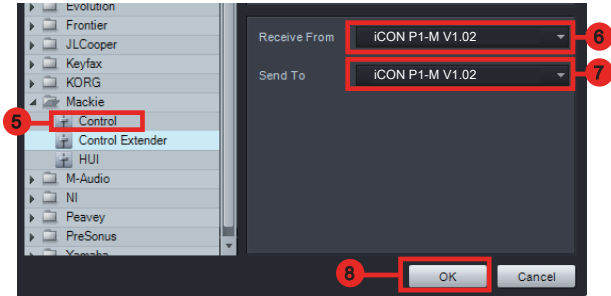
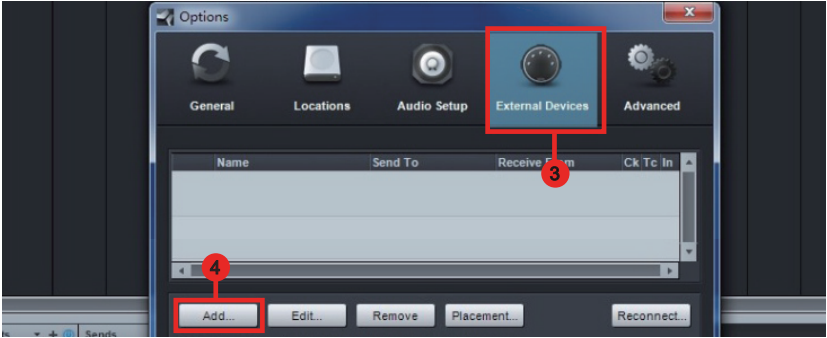
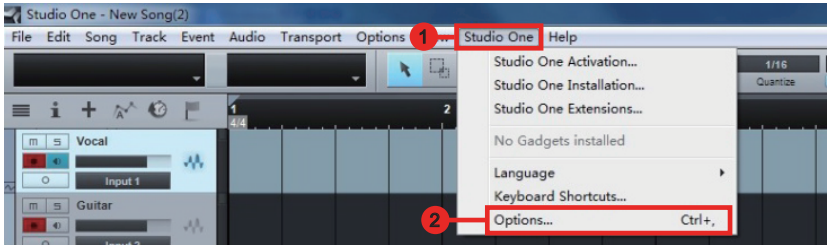
Reason

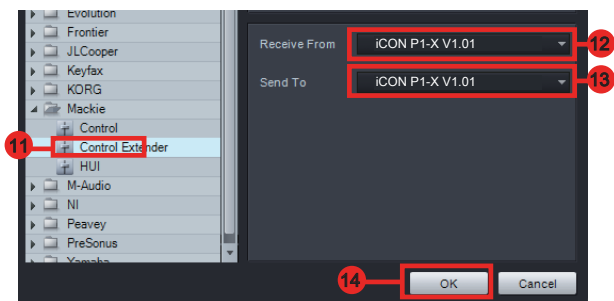


Samplitude

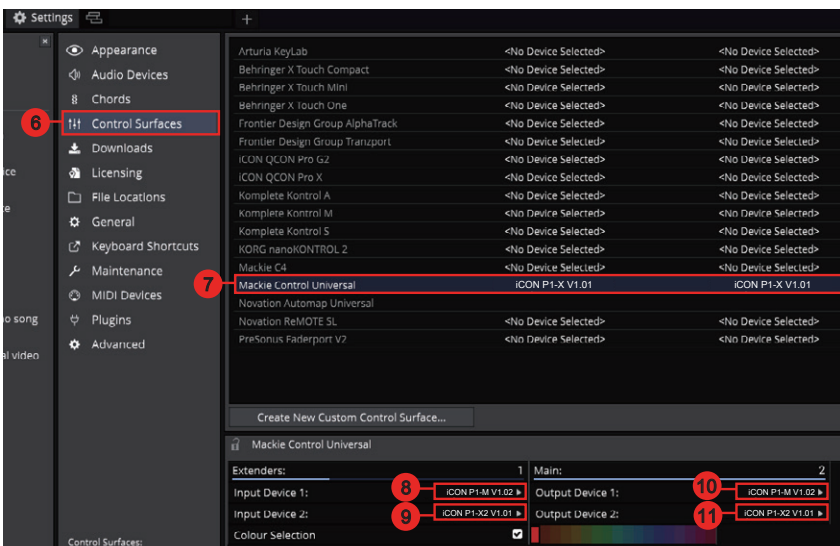
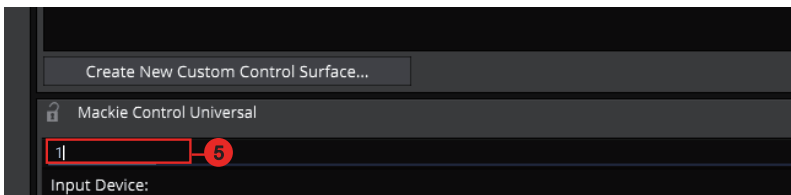


Studio One



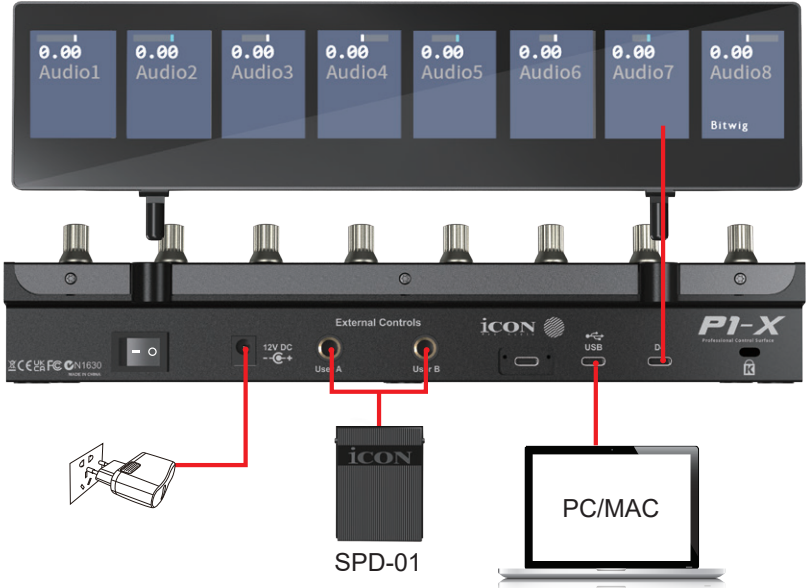


Tracktion Waveform



ハードウェアの接続

D4



拡張 P1-X

D-4 表示ユニット



P1-X ディスプレイ機能は D-4 ディスプレイユニットで拡張が可能です。

- 非常にコンパクトで耐久性に優れています
- P1-X MIDI DAW 制御器の取り付けはものすごく簡単です。磁気付きの固定装置なので、挿入したらいいです。
- 各チャンネルのチャンネル名、制御値、メーターなどを表示する大型 2 inch TFT ディスプレイを搭載しています。
- ディスプレイに表示しているチャンネルカラー (DAW による)。プロジェクトを処理する際にとっても使いやすいです。例えば、ギターは赤、ドラムは青など。
- チルト角度の調節が可能で、さまざまな視聴ポジションに対応
- 堅牢な構造です。
- マグネット式「スロットイン」フィクスチャーの採用します。
- 付属の人間工学に基づいた USB C ケーブルで接続します。
- 鮮明で詳細な表示を実現します。
- 下の「バー」表示は DAW チャンネルのカラーモードを表します。カラーごとに楽器の曲をグループ分けにしたい時にとっても役立ちます。例えばギター曲は紫、ドラム曲は黄色など。

* 現時点ではこれができる DAW はわずかです。



P1-Xは拡張可能で、魅力的な D-4 表示ユニットだけではなく、P1-Xの拡張ユニットもあります。

私たちが知っているように、各ユニットに八つの12ビットの減衰器、八つのスムーズなロータリーコーディングノブとチャンネルごとの四つのボタンからなり、録音、ミュート、ソロがあります。各ユニットはあなたにプロジェクトに対してより直接的な触覚制御を行うことができ、8つの新しい利用可能なチャンネルが制御することができます。つまり、トラックを通る貯蔵が少なくなり、音楽との体のインタラクションが増えます。

P1-XユニットとP1-Mがシームレスに協力することで、録音とミキシングの体験がさらに強化されます。より多くのボリュームコントローラは、手に触れることも多くできるということです。



製品仕様

接続端子:	コンピューター出力	USB C connector
電源供給:		12 V/2.5A DC
消費電力:		2.0A or less
重量:		1.509 kg (3.33lb)
寸法:		300(L) x 204(W) x 61(H)mm
		11.8"(L) x 8"(W) x 2.4"(H)

修理について

本製品の修理が必要な場合は、以下の手順に従ってください。

以下のような情報、知識、ダウンロードについては、当社のオンラインヘルプセンター (<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us>) でご確認ください

1. FAQ (よくあるご質問)
2. ダウンロード
3. 詳細情報
4. フォーラム

必要な情報のほとんどが、こちらのページに記載されています。お探しの情報が見つからない場合は、下のリンクからオンライン ACS (自動カスタマーサポート) でサポートチケットを作成してください。当社のテクニカルサポートチームがお手伝いいたします。
<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us> にアクセスしてサインインし、チケットをお送りください。ただし、「Submit a ticket」をクリックするとサインインの必要はありません。

照会チケットをお送いただくと、弊社サポートチームが、ICON ProAudio デバイスの問題をでき限り早く解決できるようにお手伝いいたします。

不良品を修理・交換のために返送する場合：

1. 問題の原因が誤操作や外部システムデバイスではないことを確認してください。
2. 弊社にて修理の際、本書は不要ですので、お手元に保管してください。
3. 同梱の印刷物等や箱など、購入時の梱包材で本製品を梱包してください。梱包材がない場合は、必ず適切な梱包材で梱包してください。工場出荷時の梱包材以外の梱包材が原因で発生した損害について、弊社では責任を負いかねます。
4. 弊社サービスサポートセンターまたは地区内の正規サービスセンターに本製品を送付してください。下のリンクから、当社のサービスセンターおよび販売店の所在地をご覧ください：

北米にお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：

North America
Mixware, LLC – U.S. Distributor
3086 W. POST RD.
LAS VEGAS NV 89118
Tel.: (818) 578 4030
Contact: www.mixware.net/help

ヨーロッパにお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：

Sound Service
GmbH European
Headquarter Moriz-Seeler-Straße
3D-12489 Berlin
Telephone: +49 (0)30 707 130-0
Fax: +49 (0)30 707 130-189
E-Mail: info@sound-service.eu

香港にお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：

ASIA OFFICE:
Unit F, 15/F., Fu Cheung Centre,
No. 5-7 Wong Chuk Yueng Street,
Fotan,
Sha Tin, N.T., Hong Kong.
Tel: (852) 2398 2286
Fax: (852) 2789 3947
Email: info.asia@icon-global.com



<p>天猫官方旗舰店</p>  <p>天猫店iconproaudio旗舰店</p>	<p>抖音号</p>  <p>抖音iCON艾肯</p>	<p>哔哩哔哩</p>  <p>B站iCONProAudio</p>	<p>微信公众号</p>  <p>微信号iCON-PRO</p>	<p>官方售后00</p>  <p>4006311312.114.qq.com</p>
--	--	---	---	--

中国地区用户



www.twitter.com/iconproaudio



www.instagram.com/iconproaudio



www.facebook.com/iconproaudio



www.youtube.com/iconproaudio



www.iconproaudio.com



support.iconproaudio.com



iconproaudio.com/dashboard/

www.iconproaudio.com